

# ヘリコプター搭載大型巡視船

## - 延命・機能向上工事 -

### JAPAN COAST GUARD Patrol Vessel Large with Helicopter

艦船事業本部 官公庁船・特殊船統括部  
因島工場



## 1. はじめに

海上保安庁に所属するヘリコプター搭載大型巡視船 (Patrol Vessel Large with Helicopter、略してPLH) は、排他的経済水域 200 海里を定める新海洋秩序に対応するために 1970 代後半から建造が開始された。就役後 30 年を経過した PLH について、長期の継続使用と高機能化を目的として、現装備の更新/整備、新機器の増設による延命・機能向上工事が因島工場で行われたので、以下にその概要を紹介する。

## 2. 延命・機能向上工事の概要

### 2.1 工事実績

下表に示すように、2009 年 / 2010 年に実施した PLH01「そうや」を皮切りに、これまで 6 隻の PLH の延命・機能向上工事を実施しており、現在実施中である PLH07「せつつ」で 7 隻目となる。

番号	船名	竣工年	主要目	工事実施年
PLH01	そうや	1978	L98.6mxB15.6m	2009/2010
PLH03	おおすみ	1979	L105mxB15m	2011/2012
PLH04	うるま(はやと)	1980	同上	2013/2014
PLH06	おきなわ	1983	同上	2014/2015
PLH02	つがる	1979	同上	2015/2016
PLH05	ざおう	1982	同上	2018/2019
PLH07	せつつ	1984	同上	2019/2020予定

### 2.2 船体部

航海船橋区画が大きく拡張されて、ここに操船区画、運用司令区画等が配置されて指揮機能が大幅に強化された。また、揚錨機、係船機が換装されたほか、ヘリコプター移動装置が装備されて、格納庫から機体の移

動が容易に行えるようになった。居住区画では空調設備、厨房設備の換装および浴室/便所の改装により船内居住性も向上している。

### 2.3 機関部

主機関は分解整備を行い、主要部品の交換を実施するとともに、その発停は機側、機関制御室に加えて、船橋からの制御も可能になった。発電機関については新規設備による電力需要の増大を考慮して、能力を増強して換装された。また、推進器、軸系についても分解整備を実施した。経年劣化が著しい配管、通風ダクトについては部分的に換装工事を実施した。

### 2.4 電気部

電力需要の増大に伴い、主発電装置および主配電盤を換装した。発電機の発停は、機側のほか、主配電盤および船橋区画からも可能とした。換装する機器については、その敷設電線についても換装することでシステムの一新を図っている。LED 照明の普及と信頼性の確立に伴い、延命・機能向上工事においても適用範囲が徐々に拡大する傾向にある。

### 2.5 計器部・通信部

航海船橋区画、運用司令区画等が集中配置されて、指揮機能が飛躍的に向上した。また、遠隔監視装置の新設により夜間監視能力が向上するとともに、ヘリコプター撮影画像伝送装置の新設により情報収集機能が強化されている。

## 3. おわりに

延命・機能向上工事により、長期の継続使用が可能になるとともに、技術進歩が著しい最新装備を積極的に採用することにより、業務能力の大幅な向上が期待される。

延命・機能向上工事を経て生まれ変わった新生 PLH の今後の航海の安全を祈るとともに、更なる活躍を願って止まない。